



1月ほけんだより



2022年1月5日
あさひ保育所

寒くなってきたこの時期は、やけどに注意が必要です。好奇心いっぱいの子どもたちですが、危険の予測はまだ未熟です。今回は、やけどについてのお話です。

熱い器具や 蒸気でやけど！



- ・ストーブ類
- ・アイロン
- ・電気ポット
- ・炊飯器
- ・加湿器



炊飯器・ポットは
手の届かない
高さに
配置する

テーブルに
熱いものを
置くときは
こどもの手の
届かないように

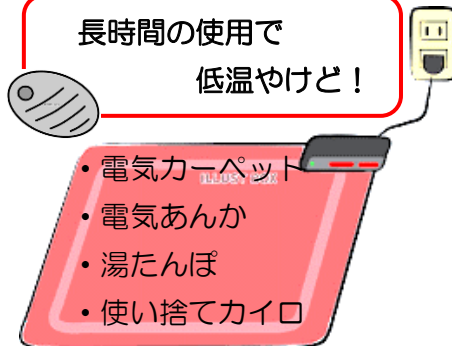


テーブルクロスやランチョンマット など敷物を引っ張ってやけど！

- ・カップ麺
- ・高温の飲み物
- ・高温の食べ物



長時間の使用で 低温やけど！



- ・電気カーペット
- ・電気あんか
- ・湯たんぽ
- ・使い捨てカイロ

- ・高熱の暖房器具は安全柵で囲い、熱い調理器具やお湯等が入ったものは手の届かない所に置きましょう。
- ・子どもを寝かせたら、あんか類は取り出し、電気カーペット等の電源は切りましょう。
- ・子どもを抱っこして食事をするときは、熱い汁物等、十分注意をしましょう。

やけど

衣服は脱がさず、すぐに
流水で冷やしましょう！

水ぶくれは、やぶらない！

広範囲の場合は、
水で濡らしたシートなどで
覆う。

※身体の表面積の判断

手のひらが1%、片腕・片足が
それぞれ10%、顔・頭は合わせて
20%と判断します。



★Ⅰ度熱傷：発赤と軽度の痛み。

★Ⅱ度熱傷：水ぶくれやただれ
と強い痛み。
外科を受診しましょう。

★Ⅲ度熱傷：患部表面が壊死
します。白くなり痛みは感じ
ません。要受診です。

身体の表面積の10%以上のやけど
で命が危険な状況になります。
直ちに救急車を呼びましょう。

